

<%Name%> 様

ECOTRANからのお知らせです。

ECOTRANからのお知らせに記載された情報のリンク先は、時間の経過によって削除されている場合があります。

なお、過去のお知らせは以下でご覧いただけます。

<https://ecotran.or.jp/act/info/info.html>

☆地域鉄道フォーラム2026の開催

国土交通省鉄道局後援・一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催の地域鉄道フォーラム2026「地域鉄道の安定輸送」を開催します。

鉄道の安定輸送とは、安全を第一に、日々列車をダイヤどおりに安定してお客様を輸送していくことです。

しかし、地域鉄道においては、運転士や施設保守要員の不足、鉄道技術の継承が課題となっています。

その中で、自動運転や無線を使つての列車制御、線路等設備の監視と診断への鉄道新技術が開発されてきています。

本フォーラムは、鉄道新技術が地域鉄道の課題にどう応えることができるか、その可能性と未来を探ります。

○期 日：2026年6月13日（土） 13時00分～15時00分

○場 所：東武博物館ホール
東京都墨田区東向島4-28-16 TEL 03-3614-8811（代）
東武スカイツリーライン東向島駅下車1分

○参加申込み：ホームページ <https://ecotran.or.jp/> より受付

○参加料：無料。ただし、東武博物館への入館料大人210円が必要です。

○プログラム

1. 開会あいさつ 一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事 原 潔
2. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 高橋泰史氏
3. 基調講演1「IT技術を活用した鉄道の安全高度化と省力化」
日本大学生産工学部機械工学科特任教授 綱島 均氏
基調講演2「地域鉄道における自動運転の可能性」
日本大学生産工学部鉄道工学リサーチセンター（NU-CRR）最高顧問 松本 陽氏
4. トークセッション「将来にわたる安定輸送のために」
コーディネーター／日本大学生産工学部教授 綱島 均氏
NU-CRR 最高顧問 松本 陽氏
津軽鉄道株式会社 顧問 澁谷房子氏
一般社団法人交通環境整備ネットワーク 審議役 河合 篤氏

詳しくは、<https://ecotran.or.jp/act/260613/260613.html>

☆（再掲）『地域交通を考える2027』（ISSN2759-8276）原稿募集

一般社団法人交通環境整備ネットワークの機関誌『地域交通を考える2027』（2027年2月刊行予定）の原稿を募集します。

本号の特集は、「鉄道と技術」です。

産業革命によって誕生した鉄道は、その後の技術の進歩と共に発展してきました。鉄道の運行は正確な時間管理が不可欠であり、鉄道用時計をはじめとする機器の精度も高められてきました。通信技術も鉄線から始まった有線通信は光ケーブルへ、無線通信もアナログ方式からデジタル方式へと発展し、列車制御を支える重要な要素となっています。また、鉄道は、土木、橋梁、トンネル、電気、車両、建築といった多様な技術が凝縮された存在です。

本特集は、その技術面に焦点をあて、これまでの歴史や評価・分析、期待等の論考をお待ちしています。

その他、鉄道、バス等地域交通に関する論考もお寄せください。

○原稿締め切りは、2026年11月30日（必着）

○発刊予定2027年2月

応募要項は、<https://ecotran.or.jp/disclosure/kaiho.pdf>

過去の内容は、<https://ecotran.or.jp/article.html>

☆（再掲）最新刊『データブック日本の鉄道』

河合篤著『データブック日本の鉄道』を刊行。
日本の全鉄道、全路線の開業から廃止に至るすべてのデータを網羅。
現在の鉄道線も、既に廃止された鉄道線もこの一冊で、一目瞭然。
日本の鉄道のあゆみをたどります。

○発売日：2026年3月14日

○仕様：A4版 300ページ

○定価：4180円（本体 3,800円＋税）

一般社団法人交通環境整備ネットワークの会員にあっては、特別割引 2,000円（税・送料込み）

当法人ホームページから購入申込みできます。
お申し込みいただきましたら、準備でき次第発送をさせていただきます。
また、東京神田「書泉グランデ」5Fにてもお求めになれます。
詳しくは、<https://ecotran.or.jp/article/series4/>

☆お盆の一部時間帯における北海道新幹線青函トンネル内の高速走行

北海道新幹線における青函トンネル内での時間帯区分方式※2による新幹線の高速走行については、令和2年度の年末年始から時速210km走行を実施し、令和6年度のGWからは時速260km走行を実施してきたところですが、今年（令和8年）のお盆期間中も時速260kmでの高速走行を実施します。

詳しくは、https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo09_hh_000255.html

☆公共交通経営者 円卓会議2026の開催

公共交通経営者円卓会議2026実行委員会主催の公共交通経営者円卓会議2026が開催されます。

○日時：2026年7月30日（木）13時30分～17時30分（開場13時00分）

※オンライン参加可能

○会場：ONE FUKUOKA CONFERENCE HALL（ONE FUKUOKA BLDG. 6F）
（福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号）

○プログラムと登壇者

【開会挨拶】

林田 浩一氏（西日本鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員）

【来賓挨拶】

原田 修吾氏（国土交通省大臣官房審議官（公共交通政策、物流・自動車局担当））

【基調講演】

森 雅志氏（前富山市長、富山大学客員教授、京都大学非常勤講師 博士（工学））

【円卓会議】

（モデレーター）

武藤 浩氏（京都大学公共政策大学院 特別教授、元国土交通事務次官）

（登壇事業者）

松本 義人氏（西日本鉄道株式会社 代表取締役副社長執行役員）

仮井 康裕氏（広島電鉄株式会社 代表取締役社長）

大上 真司氏（両備ホールディングス株式会社 上席執行役員CMSO兼グループCMSO）

金森 隆浩氏（名鉄グループバスホールディングス株式会社 代表取締役社長（予定））

吉田 元氏（株式会社みちのりホールディングス 代表取締役グループCEO）

【シンポジウム】

（【九州は今！】九州MaaSを中心に）

木下 貴友氏（（一社）九州経済連合会 地域共創部 ほか）

詳しくは、https://chikoken.org/information/entaku_2026/

☆（再掲）「地域公共交通の将来像2026 運賃制度とサービス統合」開催

EY新日本有限責任監査法人主催の「地域公共交通の将来像2026 運賃制度とサービス統合」が開催されます。

わが国公共交通の運賃制度は、事業者ごとに延伸や成長を遂げてきたことを背景に、各社別の距離制を採用している点に特徴があります。これは、高度経済成長期に公共交通の拡張・延伸投資を進める際には、合理的な制度であったと言えます。一方で、ドイツやオーストリアなど欧州の場合、各種公共交通が統合されたゾーン制の運賃制度を採用していることが多く、人口成長が鈍化した先進国においても、サービス統合による公共交通分担率の向上に寄与していると言われています。

本セミナーでは、運賃制度に焦点を当て、今後のわが国の実情に即した運賃制度とはどうあるべきか、国内外事例を参照しながら、講演・意見交換を行うものです。

○日時：2026年6月1日（月）13:30～16:00

（開始時間10分前にはログインをお願いいたします）

○形式：オンライン配信

○参加費用：無料

○対象：公共（パブリック）マーケット・ビジネス関係者、中央省庁・地方自治体の公共交通政策担当者、民間交通事業者など

プログラム

13:30～13:35 開会のあいさつ

13:35～14:05 「統合運賃の意義と可能性」関西大学 経済学部 教授 宇都宮 浄人 氏

14:05～14:40 「地方分権時代の運賃規制のあるべき姿 ～自治体主導の統合運賃を展望して～」

一般財団法人計量計画研究所 研究員 何？（かろく）氏

14:40～15:15 「広島における競争と共創の歴史 ～運賃・定期券制度を中心に～」広島電鉄株式会社 進矢 光明 氏

15:15～15:20 休憩

15:20～15:55 ディスカッション、Q&Aパネリスト：上記登壇者の皆さま

ファシリテーター：EY新日本有限責任監査法人 パートナー 長谷川 太一

15:55～16:00 閉会のあいさつ

詳しくは、https://www.ey.com/ja_jp/media/webcasts/2026/06/ey-assurance-2026-06-01

☆（再掲）「地域公共交通研究の理論と実践の到達点とこれからの方向性」開催

地域公共交通のトリセツ編集会議（事務局 合同会社萬創社）・地域公共交通勉強会主催、日本都市計画学会中部支部、国土交通省中部運輸局後援の「地域公共交通研究の理論と実践の到達点とこれからの方向性」が開催されます。

○日時：2026年6月12日（金曜日）13:00～16:30

○開催方法：オンライン 定員500名

会場 定員100名（先着順）

※当日の質疑への参加は会場のみ可能です

○会場：栄ガスビル5F・キングルーム（名古屋市中区栄3丁目15-33）

※オンライン参加はYoutubeLiveによる配信

○参加費：1,000円/人（オンライン・会場とも）

プログラム

12:30 開場

13:00～13:10 開会・企画趣旨説明

13:10～14:00 基調講演「地域公共交通研究の工学的発展をめざして—「現状よりまし計画法」から「目標達成型計画法」へ—」 何（計量計画研究所・研究員）

14:00～14:10 休憩

14:10～16:20 パネルディスカッション

コーディネーター 原田昇（東京大学・名誉教授）

パネリスト

喜多秀行（神戸大学・名誉教授）

岡村敏之（東洋大学・教授）

酒井達朗（国土交通省／二地域居住政策推進官（元・交通計画課課長補佐））

何（計量計画研究所・研究員）

16:20～16:30 閉会

詳しくは、<https://regional-transport.dev/archives/1302>

☆（再掲）第2回鉄道技術展・大阪2026の併催事業が発表

第2回鉄道技術展・大阪2026がインデックス大阪で開催されます。

併催事業が発表されました。

注目は、

○5月27日 10:30～11:30

鉄道技術行政における課題と対応について

○5月27日 13:00～16:00

安全で持続可能な鉄道システムの確立に向けて—産官学連携による安全教育と人材育成—

○5月28日 13:30～17:00

蘇る地方鉄道—型破りのデザイン戦略と地域ブランディング

○5月29日 14:00～16:00 主催：関西鉄道協会都市交通研究所

技術・ノウハウ・組織と鉄道経営：新たな鉄道ビジネスモデル構築を目指して

詳しくは、<https://www.mti.j.jp/osaka/jp/event.php>

☆『鉄道INSIGHT』発売中

鉄道インサイトプロジェクト（代表佐藤信之）発行の別冊『鉄道INSIGHT』2026年4月が発売中。
詳しくは、https://ecotran.or.jp/railbooks/r_insight/index.html

☆鉄道関係等諸情報をお送りします
注目される記事、興味深い記事には◎印を付しております

* 地域交通関係 *

- JR北海道の赤字路線 地域交通の将来像描く時
<https://mainichi.jp/articles/20260518/ddm/005/070/140000c>
- 赤字鉄道、自治体に設備委譲の「上下分離」要望相次ぐ JR北海道は路線の4割を提案
<https://www.sankei.com/article/20260505-UJN64DTSUVKNFNNUVSRRYCT6AE/>
- 旧国鉄の線路を発掘！内陸線のイベントに鉄道ファン集まる
<https://news.ntv.co.jp/category/society/ab4a761d1552664d06a9037477dc2cdf31>
- 人気のJR只見線「知られざる運休増加の現実」国内外から観光客が訪れるが持続性には課題
<https://toyokeizai.net/articles/-/943624?display=b>
- 【米坂線】“JR単体の復旧”求めてきた新潟県 8カ月ぶりの検討会議で“他案”検討の意向「持続可能性考えなければ」
<https://www.fnn.jp/articles/-/1038745>
- 全線運休が続くいすみ鉄道の駅で茶話会 バラめでながら住民が交流
<https://www.asahi.com/articles/ASV584QDRV58UDCB005M.html>
- えちぜん鉄道の2025年度の利用者数が初めて400万人を突破 普通乗車券や一日フリー切符が好調 新幹線開業効果続く
<https://news.ntv.co.jp/n/fbc/category/economy/fbe30a9a87ee5644ec8a6cf6b76bddbdc>
- 観光列車化で大幅値上げへ 定期利用は過去15年ゼロも地元と溝 「説明不足」と反発 “ローカル線再生請負人”率いる大井川鉄道
<https://www.fnn.jp/articles/-/1041823>
- 「井川線は宝物なんです」大井川鉄道・鳥塚社長が住民説明会で陳謝 井川線の観光列車化はいったん延期に
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2649484?display=1>
- 「井川線の高収益化で我々がより井川線に関われるようになる」大井川鉄道の鳥塚社長 井川線の「観光列車化」を地元関係者に説明「大井川鉄道に対する愛がいっぱいだった」
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2650617?display=1>
- 大井川鉄道・井川線「6月1日から大幅値上げ」見送りに 地元から反発、社長が説明不足を謝罪
<https://news.at-s.com/article/1971239>
- 大井川鉄道井川線の「実質値上げ」なぜ無理があったのか？ 「観光鉄道」をやりにくい現状の解消を
<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/ec8ce85bcf303fc004010bb031481d835aca8a0b>
- 観光列車とは何か？ 昨夜の夜行列車報告
<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/9bb178ed7f2e909ba8e0f861cc460daf40a42a71>
- 軽油の価格高騰でローカル鉄道も悲鳴 さらに状況が悪化すれば減便の申請も視野に 開業以来最大の燃料費高騰で苦境に
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2663930?display=1>
- うどん店の店長から路面電車・路線バス両方を運転する「二刀流乗務社員」に転身…岡山市の鉄道会社 1期生の男性が目指すもの
<https://www.fnn.jp/articles/-/1039722>
- 芸備線沿線でバスの実証実験 平日の日常利用向け 6月1日から9月末まで 7月以降には観光利用向けのバスの実証実験も
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2648063>
- 利用の低迷に歯止めは「木次線」の利活用に向け沿線自治体などが協議
<https://www.fnn.jp/articles/-/1041750>
- 【社説】JRも自治体も悩む赤字ローカル線 政府は将来像を描いて
<https://www.asahi.com/articles/ASV4W1GMNV4WUSPT01KM.html>
- 利用者はいるのになぜ赤字？JR四国が抱えるローカル鉄道「最大の難題」
https://diamond.jp/articles/-/388716#goog_rewarded
- 本州との交流人口は35年で2倍なのに…JR四国の鉄道がもうからない「決定的な理由」
<https://diamond.jp/articles/-/389853>
- 鉄道縮小は不可避なのに6割増収？…JR四国で急成長する「稼ぎ頭」とは
https://diamond.jp/articles/-/389570#goog_rewarded

* 営業・運賃関係 *

- JR運賃改定で「通勤手当1万円」増えたら、なぜか“社会保険料”が「年3万4000円」増えた！
通勤費にも“課税される”なんて理不尽じゃないですか!? 月収32万円のケースで解説
<https://financial-field.com/tax/entry-500417>
- なぜあの鉄道会社の「運賃値上げ」には反発が起こるのか？ 値上げが社会的に容認される鉄道との違いは
<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/b859f6b73bb3c1976271f91e0e9949a0845f5961>
- 小田急が2028年にも運賃値上げを検討 物価や人件費高騰で
<https://www.fnn.jp/articles/-/1044232>
- 和歌山電鉄が10年ぶり値上げへ、初乗り190円から220円に 年2億円超の営業赤字
<https://www.sankei.com/article/20260508-IZZMID2RPBPJJKU7ACFDWAX3UI/>
- JR九州が大盤振る舞い “100円”で九州乗り放題の夢の切符 その名も「こどもぼうけんきっぷ」
<https://news.ntv.co.jp/category/society/ky9b8d3b8ced39483287664474705b08ae>
- “乗り鉄”だけがオトクになるわけじゃない！ 東京 - 金沢の単純往復だけでも約5000円も安くなる「大人の休日倶楽部」限定フリーきっぷってどう？
<https://vague.style/post/417125>
- ◎Suicaがない“JR最弱”企業、QR切符アプリで会員12万人。地元出身記者が見た「交通系IC空白地帯」JR四国の逆転戦略
<https://www.businessinsider.jp/article/2605-jrshikoku-ticket-app-strategy/>
- クレカタッチやQR乗車の拡大で「Suica」はいつまで使えるのか
<https://japan.cnet.com/article/35247312/>
- JR東日本も実証へ、なぜ「タッチレス」改札機が注目を集めるのか
<https://japan.cnet.com/article/35247313/>
- Suicaが「タッチ不要」のウォークスルーへ、JR東日本がUWB活用の次世代改札機を公開
<https://k-tai.watch.impress.co.jp/docs/news/2108790.html>
- 関西私鉄大手、万博で利用増え3社が最高益…2026年3月期連結決算、ホテル・不動産も好調
<https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20260515-GY01T00121/>

*** リニア・新幹線関連 ***

- 【リニア中央新幹線工事】「ここまでは非常に順調にきているのでは」環境影響の連絡会議が3年半ぶりに全体会 JR東海の対応策を最終確認した承
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2653210>
- 【リニア中央新幹線】「とにかく真摯に報告書に従って実行していく」JR東海の環境対策を県が了承 国のモニタリング会議で報告
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/sbs/2664306?display=1>
- リニア中央新幹線 品川方面に掘り進められていたトンネルが端に到達、貫通 南アルプストンネル・山梨工区
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2658263?display=1>
- 片山財務大臣に奥羽・羽越新幹線の「整備計画路線」への格上げを要望
<https://www.fnn.jp/articles/-/1045747>
- 「交流を生み出すチャンス」 北陸新幹線・大阪延伸へ決起大会 ルートは今国会で1本化へ
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2646910>
- 新幹線全線整備求め 北陸3県が要請 各県で立場の違いも
<https://news.ntv.co.jp/n/knb/category/society/knad6f94e4b97a4a94b2b54a66e93b3565>
- 国交省、財務省にも鉄道局長発言を釈明 北陸新幹線延伸巡り
<https://mainichi.jp/articles/20260515/k00/00m/010/127000c>
- 「四国新幹線」導入に向けた早期整備など求め四国新幹線整備促進期成会会長と4県知事らが国に要望
<https://www.fnn.jp/articles/-/1044792>
- 西九州新幹線・未整備区間が福岡県南部ルートを検討なら…福岡県知事「本県の意向も確認するべきだ」
<https://www.yomiuri.co.jp/local/kyushu/news/20260513-GYS1T00014/>
- 「一歩前進へ」東九州新幹線など整備促進を9県が要望 国交省へ財源拡充や調査実施を求める
<https://news.ntv.co.jp/category/economy/umcce46fd2d54b49ef95a522841072cce2>
- 東九州新幹線、福岡県内の経済波及効果は6,661億円と試算
https://fukuoka-leapup.jp/biz/202605_79683
- JR東、整備新幹線貸付料に関する文書公開 「増額なしで国と合意」
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UC084GLOY6A500C2000000/>
- 国交相、JR東日本に不快感 施設貸付料の合意文書公開巡り
<https://www.47news.jp/14287554.html>

*** 幹線鉄道・都市鉄道・鉄道関係全般 ***

- 東武鉄道、2026年度の設備投資計画を発表
<https://railf.jp/news/2026/05/02/042000.html>

- 西武鉄道初のシールドトンネル掘進開始、新宿線の中井—野方間が地下へ
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00110/00525/>
- “東急は高級、西武は庶民的” イメージは沿線データで裏付けられるか
<https://dot.asahi.com/articles/-/281431?page=1>
- 神奈川私鉄5社、設備投資2274億円 京急久里浜線の複線化凍結 東急は事故車両を補充
<https://www.sankei.com/article/20260516-LMDHGK2Z6JLINIGT2HQLPDJ44E/>
- 国土交通省により新規事業採択された「京王電鉄京王線（仙川駅～国領駅付近）連続立体交差事業」！！約2.1km区間を立体化して踏切5箇所を除去へ！！
<https://skyscrapers-and-urbandevelopment.com/91251/>
- 「京王線高架化」今どこまで進んだ？ 気づけば各地で「高架が出現」も現地で見えてきた状況とは
<https://www.tetsudo.com/report/539/>
- 京王、「所要時間短縮に向けた抜本的なダイヤ改正」目指す 2026年度の鉄道事業設備投資計画で発表
<https://www.tetsudo.com/news/4061/>
- 東京メトロ決算、鉄道依存度「92%」という現実——利益895億円でも変わらない収益モデルの実像
<https://merkmal-biz.jp/post/114660>
- 「新京成」はなぜ78年も京成と“別会社”だったのか 「陸軍線路」の争奪戦から始まった数奇な歴史
<https://trafficnews.jp/post/659489>
- 海外から見た日本の鉄道網の分析、日本はどのように「21世紀最強の鉄道システム」を築き上げたのか
<https://gigazine.net/news/20260503-japanese-train-city-project/>
- その手があったか！ “空港駅じゃない”のに空港まで徒歩8分 直接歩いて行ける「駅チカ空港」がたくさんあった
<https://trafficnews.jp/post/657328>
- JRグループだから実現、「鉄道グッズ」開発の舞台裏 駅名看板のタオルから食堂車のカレーまで
<https://toyokeizai.net/articles/-/942764?display=b>
- 戦後復興を支えた国鉄の軌跡 現代に生きる我々へ問いかける記憶と変遷の歴史
<https://otonano-shumatsu.com/articles/553186>
- 車両増やさず増発したい… “苦肉の作戦”で10%利用増！ 「ジリ貧」の国鉄が始めた広島発の起死回生策
<https://trafficnews.jp/post/660355>
- 鉄道好き集まれ！ 鉄道信号や踏切、鉄道模型もあるこのスペースは何？ 「RAIL HUB SHIZU OKA」が静岡市にオープン
https://look.satv.co.jp/content_news/politics_economic/86454
- ◎地下鉄は来ず、インフラが朽ちた街——高齢化率約6割、23区の“外れ”と化した「桐ヶ丘」という巨大団地のいま
<https://merkmal-biz.jp/post/114508>
- ブルートレインから鈍行まで「夜行列車」の記憶 普通列車にもあった寝台車、「豪華列車」になり旅の郷愁
<https://toyokeizai.net/articles/-/943090?display=b>
- いつもガラガラ「志摩スペイン村」はなぜ潰れなかったのか？ 近鉄の大リストラ時代を生き延びた30年の苦闘
<https://gendai.media/articles/-/166521?imp=0>
- JR東日本、自律走行ロボットで線路点検 熊リスクも低減
<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2107295.html>
- 鉄道で導入進む「通信アプリ」現場負担減らせるか JR、京王、メトロ…スマホがランシーバー代わりに
<https://toyokeizai.net/articles/-/942550?display=b>
- 空飛ぶクルマ、警報・遮断機ない踏切… JR東、西が「鉄道技術展・大阪」の出展内容発表
<https://www.sankei.com/article/20260514-DFMZFZQJVBKQXK3YF3PG2BAMNU/>
- 5Gで“つながる”東京メトロ全線で進む、駅の5Gエリア化
<https://www.docomo.ne.jp/area/nwpr/article46/>
- 復元が趣味「SLはあこがれ」4年かけ修復し公開 豊田の会社経営者
https://www.asahi.com/articles/ASV574DBHV5701PE002M.html?iref=sp_photo_gallery_bottom
- ◎わずか644メートルの線路にたどる戦後復興期の記憶 井の頭線と小田急線とを結んでいた世田谷区に存在した連絡線の軌跡
<https://otonano-shumatsu.com/articles/553799>
- SSTとJR貨物、パレット単位の鉄道混載輸送開始
<https://www.logi-today.com/947748>
- 「空気を運んでいる」と言われて30年…予約殺到の客室化企画と黒字経営、“白い無人車両”が変えた評価とは

- <https://merkmal-biz.jp/post/114354>
◎日本と事情が違う「ドイツ鉄道は遅延ばかり」の真相 「時間に正確」は過去の話に、なぜ悪化したのか
<https://toyokeizai.net/articles/-/941989?display=b>
○ [茨城のミュージアムへ行こう] 人気機関車に思いはせ 龍ヶ崎市歴史民俗資料館
<https://www.yomiuri.co.jp/local/ibaraki/feature/20260509-GYTAT00077/>
○高萩駅舎100年 刻む歴史 資料館で企画展 栄えた炭鉱、「関東一」馬市
https://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=1777374790433900
○新型「しなの」の「385系」量産先行車お披露目！ 注目ポイントは「次世代システム」「20メートル級」
<https://www.tetsudo.com/report/544/>
○「プレミアム」も快適だけど…近鉄の最新「名阪特急」普通席の満足度がスゴいわケ 新幹線グリーン車に匹敵？
<https://trafficnews.jp/post/663520>
○十国峠ケーブルカー、「スロープカー」で置き換えへ 2027年夏運行開始
<https://www.tetsudo.com/news/4063/>
◎わずか8年で終了「姫路モノレール」なぜ短命だったのか 地方都市に最先端の乗り物「姫路の田中角栄」が構想
<https://toyokeizai.net/articles/-/943983?display=b>
○300億円かけたのに15年で廃止!? 幻の路線「ピーチライナー」なぜ失敗したのか？20年経っても“解体されない”切実な事情
<https://trafficnews.jp/post/666012>
○先の大戦の遺構、今も残る特殊な線路「三線軌条」 京急逗子線がたどった日本海軍と引き込み線の歴史
<https://otonano-shumatsu.com/articles/555312>
○「名前を取り戻した駅」の数奇な変遷 線路や信号機が丸ごと残存！ 国鉄線を横切っていた私鉄廃線跡のいま
<https://trafficnews.jp/post/665401>
○名鉄、2026年度の設備投資計画を発表
<https://railf.jp/news/2026/05/16/000500.html>
○南海、2026年度の設備投資計画を発表
<https://railf.jp/news/2026/05/15/073000.html>
○「1960年の呪縛」を解く？ JR西日本とANA・JALが踏み出した“越境提携”を考える
<https://merkmal-biz.jp/post/114883>
- *バス・タクシー、船舶、航空、物流、観光ほか*
- 時刻表が真っ白って……約8割のバスが消えた駅前バス停に驚愕!!
<https://busmagazine.bestcarweb.jp/feature/column/208970>
○【人手不足】運転手高齢化進むバス業界…路線維持へ新たな運転手確保・運行効率化の取り組みを取材(静岡)
<https://news.ntv.co.jp/n/sdt/category/society/sde1512d50c19c4b4e818cbdbba0df0727>
○東京～有楽町で自動運転バス運行 予約不要・運賃無料
<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2107071.html>
○堺雅人も伝える「大地に絵を描く」理念 苦しい時代を乗り越え創立100周年を迎えた宮交グループの軌跡
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/mrt/2653212?display=1>
○BRTと駅前再編はなぜ噛み合わないのか？ バス利用額「全国8位」の都市で進む、歩行者と車社会の分断
https://merkmal-biz.jp/post/114730/2#google_vignette
○撤退発表も追い風？ 南海フェリーGW予約2割増加
<https://news.ntv.co.jp/n/jrt/category/society/jr7a09d8d82853470191275862ff7dab42>
◎DMOや観光事業者が「地元の交通を一番に考える」のが重要な理由、新たな観光立国推進基本計画から地域交通のあり方を考察
<https://www.travelvoice.jp/20260513-159758>
○習近平が「日本に行くな」と煽った意外な結末…街から中国人が消えて分かった「日本の観光業」の知られざる強さ
<https://president.jp/articles/-/113163>